

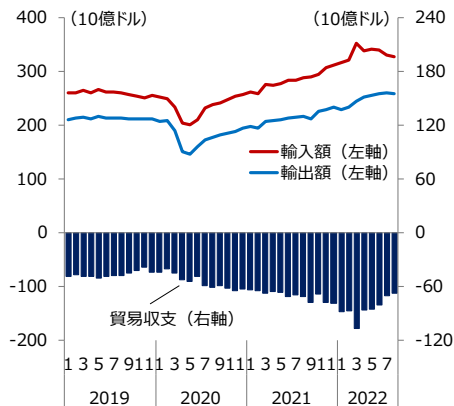
米国

貿易動向 (2022年8月)

貿易赤字は縮小傾向、先行きはドル高進行による輸出減速が懸念

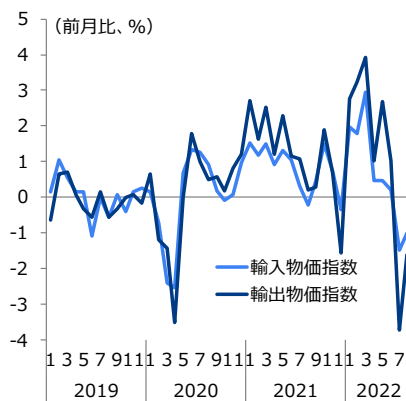
政策・経済センター
田中 高夫
03-6858-2717

1 貿易収支 (名目)



出所：米国商務省より三菱総合研究所作成

2 輸出・輸入物価指数



出所：米国労働省より三菱総合研究所作成

評価ポイント

今回の結果

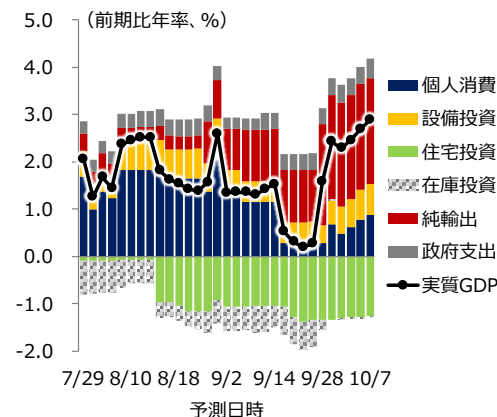
- 22年8月の名目輸出額は2,589億ドルとなり、わずかながら22年1月以来初めて前月比で減少に転じた。輸出を品目別に見ると、食料品や天然ガスは前月比で増加したものの、自動車・部品や工業用品の低下が押し下げ要因となった。
- 一方、名目輸入額は3,263億ドルと、3カ月連続で減少した。この結果、貿易収支は674億ドルの赤字となり、赤字幅は5カ月連続で縮小した (図表1)。輸入を製品ごとに見ると、多くの消費財や資本財で前月から輸入が減少した。一方、海外旅行の増加が一因となりサービス輸入は増加した。
- 労働省が公表する輸入物価指数は供給制約の緩和による財価格の低下などの影響で2カ月連続で前月から低下、輸出物価指数もエネルギー価格の下落で大幅な低下となった (図表2)。これにより、輸出入物価指数で除した実質輸出入額は、輸入が前月から小幅減少、輸出が小幅増加となった。

3 実効為替レートと輸出景況感



出所：Institute for Supply Management®、Fredより三菱総合研究所作成

4 7-9月期の実質GDP予測

注：公表指標を基にアトランタ連銀が推計。直近は10月7日。
出所：アトランタ連銀より三菱総合研究所作成

基調判断と今後の流れ

- 米国の貿易収支は、堅調な輸出に加え、米国景気の減速による輸入減少を主に赤字幅が縮小している。
- 先行きの注目点は、金融引き締めによる貿易への影響だ。インフレと大幅利上げによって米国経済は減速感を強めており、今後も輸入は減少するとだろう。
- 一方で、利上げに伴ってドル高が急速に進んでいることが懸念材料だ。ドル高進行とともに、製造業の輸出マインドは低下を続けている (図表3)。当面の間、FRBの利上げが継続すると見込まれることから、ドル高傾向も続くだろう。国際的に需要が高まっている食料品やエネルギーが輸出下支え要因となるものの、工業製品など他製品では世界経済の減速に加え、ドル高による国際競争力の低下から輸出が低下する恐れがある。
- アトランタ連銀による7-9月期の実質GDP成長率予測では、堅調な消費や設備投資以上に純輸出が大きくGDPを押し上げると推計されているが (図表4)、ドル高による輸出抑制効果が大きくなれば、成長率が押し下げられかねない。